

改むべき事ども

大江スミ



昭和十二年の夏には、東京にて萬國教育大會が開催され、四年後には次ぎのオリムピックが開かると伺ひました時『さあ早速改めなければならぬ事の一つは次の通り』と存じました。

一、紙屑、煙草の吸殻、果物の皮、其の他の塵埃を道路、公園、競技場、劇場、停車場、汽車等總て公共の場所に亂さぬやう注意する事。

二、手洗所（便所）の位置、即男女の手洗所は全然同一室に置かず、方向をも別にし、かかる場所にて男女顔を合することなきやうすべき事。

三、物干場に注意し、他より洗濯物の見えざるやう、障壁を造り、他家の迷惑にならぬやう、市街の風致を害さぬやう心掛くる事。

四、カフェー飲食店、其他行樂場等の取締をなし、風儀を亂し國辱とならぬやう注意すべき事。

五、外國人に對する作法を心得しめ、不自由なきやう親切丁寧にし、以て旅情をなぐさむるやう心掛くる事。

第一 公共の場所に紙屑、煙草の吸殻をやたらに捨つる習慣につきましては、近頃よほど前よりきれいになりまし

たと思ひよるこんで居ました。然し去る月曜日神宮外苑を通りかかり運轉手に「近頃はよほどきれいになりましたね」といひつゝ、ふと兩側の芝生を見ます、とそこら一ぱい紙屑だらけです「あゝどうしませう」と申ますと運轉手の申すには、「昨日は日曜日で、しかも上天気で其の上野球が御座いましたので、大變な人出で御座いましたため、こんなに紙屑がちらかつて居ますので御座います」との事、人が出さへすれば紙屑や塵をまき亂らすやうでは實にこまります。私は野球の事をよく存じませんのであまり参りませんが、いつぞやグロスター公殿下の御來朝の節専門學校以上の男女學生が外苑の競技場に参る事が御座いました際、始めて場内を見ました。既に競技が終り各々退場いたす時、女學生の事ですから怪我でもあるといけないと存じ一番あとに出る事といたしました。あとを見ますと競技場のスロープ一たいが紙屑や塵埃で一ぱいでまるで雪がふつたやうでありました。私共皆で拾つてきれいにいたしました。ここに集りました人々は、皆高等教育をうけた人達ばかりなのにこんな事では何のための教育か、教育はこんな公共の場所をきれいにさせることではないかと思つたのであります。

此外りつばに舗装された道路、きれいに配置された公園、停車場、汽車、劇場内にて菓子包果物の皮等を塵溜のやうにすてて、かへりみない有様を見ますと實に何とも申されません。この習慣は學校教育をうけた學生たち、或は相當教養ある人々もこの事には無頓着であります。夫故、今後各家庭にては勿論學校及各方面にて充分公共の場所を清潔にし、且整頓せしむるやう教へ込まなくてはと存じました。

擬學校にて生徒にこの清掃思想をふきこむには生徒に自から其任に當らせる事が必要であります。

大震災火災後、東京市が復興されました時、畏くも天皇陛下の御巡幸を仰ぎました。其際東京家政專門學校東京家政學院の學生も清掃運動に参加いたしました。正に三月廿七日に卒業致さうとする上級生は最も雑踏せる上野會場附近及び御道筋に、一年生二年生を新橋京橋方面に配置し、各自紙袋と箸とを持たせ道路の紙屑を拾はせました。御通

過後群集が坐るため使用しました新聞紙が宙に舞ひ上り、まきちらせしごみは大變なことでした。公園入口に賣つてゐる茹玉子を食べれば、皮はそのまゝする。人がふみにじる。宣傳ビラを見ればそのまゝ道路に捨ててかへりみず、煙草をのめば、吸殻をすてる、其不作法なこと、甚だしきは唾をなく人さへもありません。是等の事實を見せつけられました學生達は私に『卒業間際に誠によき體驗をさせていただきました。實地に紙屑を拾つて見ましたら始めて、日本人がどの位無責任にごみをして、公共の場所をよごして居るかと云ふ事を知りました。以後私共もこのくせをなほさねばならぬとつくづく感じました』と申しました。これを見ましても國民のこの悪しき習慣をなほすには、町の祭日か特別入出の多き日に授業後三十分か一時間位各學校の近所の道路に出て、例へば九段坂上より市ヶ谷迄は家政學院どこ町は何小學校の生徒、何町は何中學生何町は何女學校と申すやうに、生徒を出して各自に體驗させたなら、すぐに此悪習慣をためなをす事が出来ませう。勿論教育官廳と府縣市町村の清掃掛と、各學校當局と打合せ之を實行し、生徒學生を通して家庭の教育をすると同時に講演、映畫、演劇等を通して全國民を訓練しなくては、到底一朝一夕にはなほらないと存じます。

第二 手洗所（便所）の位置につきて、三十年前英國ロンドンで私は衛生検査員の檢定試験をうけ検査員となりました時、工場法を調べました。其の中に『男工女工を使用する工場に於ては手洗所（便所）の位置は其の方向を全く別にする事』即ち男工の手洗所が東にあれば、女工のは全く其反對の方向なる西にあるやうにしなければならぬとの事、つまり勤務時間中は勿論、男女工一つ所にて働きますが、手洗所のやうな所で男女顔を合する事は情操教育上、風儀上御互に憚らねばならぬからであります。

米國あたりにては停車場は勿論、汽車の手洗所も車の一方に男子用のものがあると、他の一方に婦人用のがあります。夫故五六日間同じ車内にて旅行致して居つても手洗所が別な爲に少しも不快の念をもつことはありません。もし

これが日本のやうに一方に男女同室の洗面所、他方に男女の便所が同室にあるとしたら使用中赤毛の男子や黒人が入つて來たらどんな感じがいたしませう。日本人同志ならしかたがないでしやうが、外國人が來られた場合誠に不快な感じが致すにちがひないと存じます。この事は前にも觀光局の御方々に申述べたことも御座いましたが、經費の都合上出來ないと申され、今だに少しもあらたまりません。外國の御客を迎ふるに當り是非ともこんな點を注意せねばならぬと存じます。

かの大正十二年の大震災火災で諸學校が燃失し、新らしく鐵筋コンクリート造の校舎が出來ましたが、便所は男生女生のものが同一場所に造られて少しもかやうな點に注意が拂はれて居ません。是等を見ますにつけて私はいつも『なぜ三十年前からこの事を主張し、公に此説を發表しなかつたかと、今更ながらいつも後悔いたして居る次第で御座います。しかし明夏迄には一ケ年あるしオリムピックには四ケ年ありますから、まだ遅くはないと存じます。

東京市の入口、東京停車場の手洗所も男女同室にあります。中央に間隔の壁を造り入口を別の方向につけたら、幾分よくなるかと存じます。かやうな事は些細の事のやうであります。が、國際上情操教育上注意すべき事と存じます。下水の始末、道路の兩側の溝は誠に不潔で臭氣は勿論衛生上大害あるものと存じます。殊に外國人を招待するに當りチブス、疫痢等の傳染病の流行する危険をのぞく事が大切でもあり、洗滌式便所を造るにも必要であります故、市の當局にても速やかに下水工事にとりかかつていたゞきたいのであります。

第三 物干場につきましては、洗濯物を人目につかぬ所につくらなくてはなりません。即ち他家の座敷から見ゆる所にほし、自分の地所内なればどんなに高く、乾そうがかまはぬと思ふやうでは、人様の御迷惑にもなり、市街の風致をも害することとなり、所謂公德心にも缺くる事となりますから、垣根内にて乾かし他より見られぬやう致すべきであります。

第四 カフェー、飲食店、其他行樂所に注意し、風儀を亂して國辱とならぬやう其筋の取締を願ひたきもので御座います。

第五 外國人に對しての作法につきましては、どの方も外國に旅して思ふ事は、其國人の親切であります。故國を離れ、他の國の風俗習慣にひたらうと思ふ時、親切丁寧に案内されるほどうれしい事はありません。それに外國人のまはりに集まり取かこみ、ちろ／＼見つめたりする事は、禮儀にも叶はぬと存じます。兎に角親切丁寧に誠心誠意をもつてあしらひ、不自由なきやう接待すべきであります。